

地震！備蓄品で炊き出し

浜名区小松、地域住民ら訓練

浜松市浜名区小松の杏林堂薬局小松店で19日、店に

備蓄するLPガスや防災設備を使用した炊き出し訓練があった。同店の店員や地域住民などが参加し、災害時の対応を確認した。



停電時を想定し、アルファ米を使った炊き出し訓練―浜松市浜名区小松で

地震によって停電が発生したことを想定。地域の自治会から提供を受けたアルファ米を使って炊き出しをした。LPガスコンロで沸かしたお湯をアルファ米に注ぐと、15分ほどでご飯が完成。50食分を来店客に配布した。鈴木秀幸店長は「能登半島の地震もあり、防災への意識が高まっている。今回の訓練で地域住民とのつながりもできたので、災害時も安心安全に設備を活用できるようにしたい」と話した。

同薬局は2015年、災害時に物資を提供する協定を浜松市と締結。LPガス販売のエンジンと協力し、県内3店舗にLPガスのみで使用できるコンロや釜、発電機を設置している。

(小林颯平)